

9月10日(木曜日)「真の幸福の教え(6)」

【新改訳 2017】

マタイ 5.8

「心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。」

「神を見る」ことができたならば、なんと幸いですでしょう。

主はその秘訣を教えてくださいました。それは、心がきよい、ということです。原語では「カサロス」という語で、おもに純粹であること、混じり気がないこと、清潔などを意味します。「ありのまま、正直」にも通じるものです。文意でわかるように、肉眼で見ることではありません。心の目で見ることです。英語の see が、「見る、見える、わかる」の意味で用いられることもヒントになります。ヤコブは表現は違いますが、内容は同じことを次のように述べています。「……罪ある人たち、手を洗いきよめなさい。二心の人たち。心を清くしなさい。」(ヤコブ 4.8)。

人間にとって、何を見るよりも「父なる神」を見る(わかる)ことこそ、真に幸いであることを確信できますように。

～祈り～

主よ。心の汚れているこの者をあわれんでください。十字架の福音による罪の赦しを信じ、きよい心とされて、あなたを見る(わかる)ことができますように。

【学びのために】

「きよい心」とは、神を見る、わかる(英語の see は両方の意味がある)心であることをしっかり覚えましょう。英語では pure in heart で、純粹、純潔、混じりっ気のない心、正直な心。